



Edgeband Management Set:

エッジ材管理アシスト

一目でエッジ材と、すべての関連情報を把握できます。

このアシスタントを使用すると、エッジ材と在庫に関するすべての情報の把握できます。適切なエッジ材をいつでもすばやく簡単に見つけることができ、エッジを探す時間を削減できます。

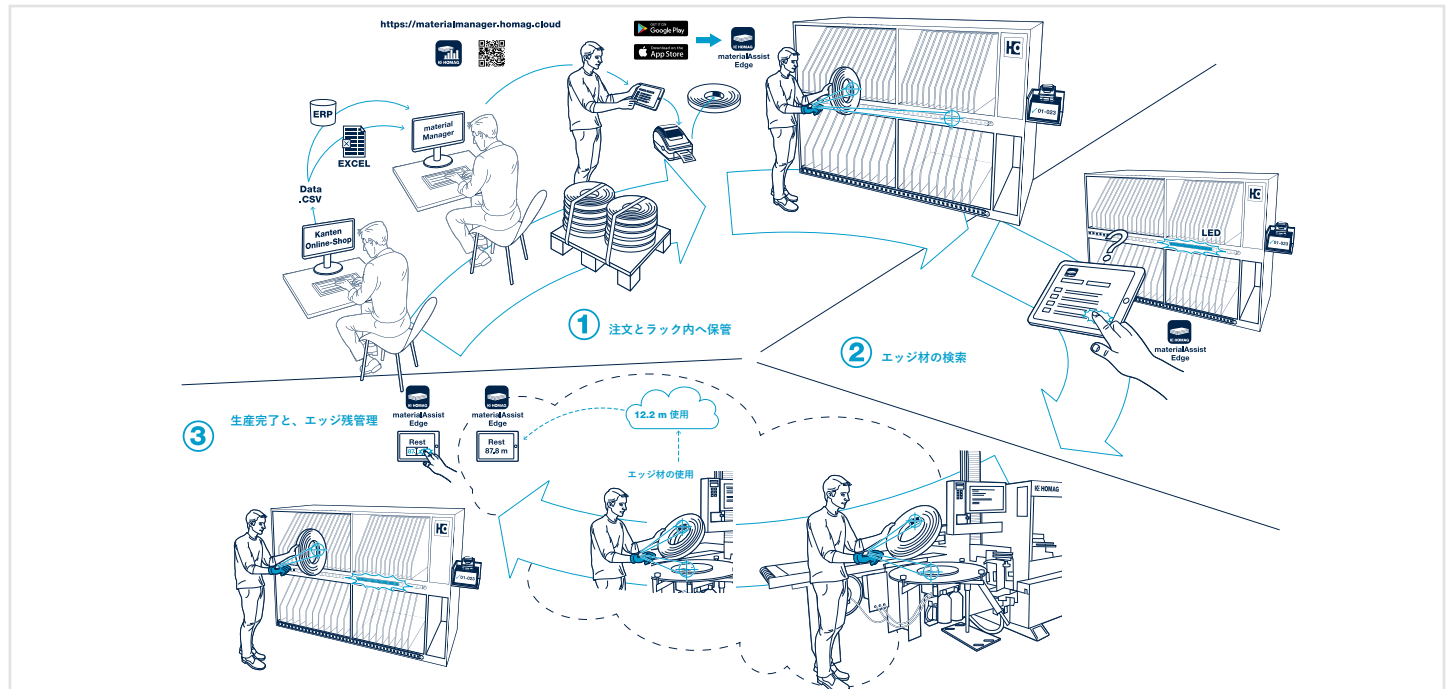
導入メリット

- ✔ **完全な管理:** すべてのエッジ情報が一目でわかります。アプリとHOMAGエッジラックの在庫状況を常に把握できます。プリンタを使用し、各エッジコイルに個別のラベルを作成することもできます。
- ✔ **簡単な管理:** ラック内のエッジはクリアに管理でき、各エッジコイルも識別されます(エッジ残も含む)。システムはエッジラック内の入出庫を記録し、保管場所を正確に示します。
- ✔ **省スペース:** エッジコイルを立てて保管できます。
- ✔ **時間短縮:** エッジ材を探す時間がなくなり、エッジの切り替えが早くなり、セットアップ時間が短縮されます。



„Edgeband Management Set“ に付帯するものは?

- 2つのアプリ: „materialAssist Edge“ (ラック内のエッジ材管理) & „materialManager“ (全材料を対象にした基幹システム)
- エッジ管理ラック „materialRack Edge“ の設計図は無料ダウンロード (部材リスト、金具リスト、woodWOP加工プログラム)
- エッジ管理ラック用LEDストリップ
- ラベルプリンターと、ラベルロール2基
- HOMAG CUBE (ラックとプリンターをインターネットとアプリに接続するためのインテリジェントPC)
- インストールガイド #BuildYourSolution



現場の作業手順:

1. Edgeband Management Setを最適に使用するには、materialManager (全材料を対象にした基幹システム) と materialAssist Edge (ワークショップのワークステーションでのエッジバンドの管理) の2つのアプリが必要です。エッジ材管理用ラックも必要です。エッジ材管理用ラックはニーズに適合させることができます。HOMAGからの提案のラックの設計データはセットに含まれています。
まず、事務所で「materialManager」Webアプリでエッジ材のマスターデータを作成するか、単にインポートします。「materialManager」はデータの一元管理ができます。アプリは在庫量と各コイルが配置されている場所を表示します。
2. 次に、エッジラックに移動し、「materialAssist」アプリで、各エッジコイルを作成します。現場では、特定のエッジ材に関するすべての情報 (プロパティ、残りの長さ) にすぐに簡単にアクセスできます。エッジ材を識別用ラベルは、アプリから直接印刷することもできます。
各ラベルには、対応するID、エッジコード、およびエッジ材の寸法が含まれています。エッジ材管理ラックに保管する場合は、「materialAssistEdge」アプリがコンパートメントを提案します。ラック内の対応する位置は、点灯するLED表示によって識別されます。部材に縁貼りする場合は、アプリで部材をタッチして正しいエッジバンドを選択するか、帳票に出力されたバーコードをスキャンします。ここでは、対象のエッジ材の残量も確認できます。必要に応じて、アプリの概要に材料のすべてのコイルを表示することもできます。アプリでエッジ材を選択すると、エッジ材管理用ラックのLEDが点灯して、すぐに保管場所を把握できます。これにより、加工する正しいエッジ材をすばやく、かつ簡単に特定できます。
3. 部材を縁貼りした後、アプリに新しい残量の値を入力するだけで、「materialAssist」アプリの残りの長さを更新できます。または、使用したの消費量を入力することもできます。アプリは残りの長さを自動的に計算します。別のオプションは、エッジロールの直径を測定することです。内径と外径が測定されます。測定値を入力した後、アプリはエッジの厚さを考慮して、残量を自動的に計算します。各エッジ材料の全長と作成されたロールの数は、「materialManager」で同時に更新されます。したがって、常に更新された在庫を把握できます。

▼ 結果: エッジバンド管理セットにより、エッジ材の情報を常に把握し、いつでも簡単に見つけることができます。